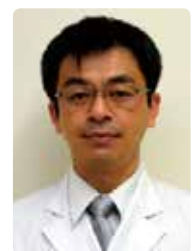


# 頸髄症について

整形外科部長 兼 診療放射線科部長  
**向山 啓一郎**

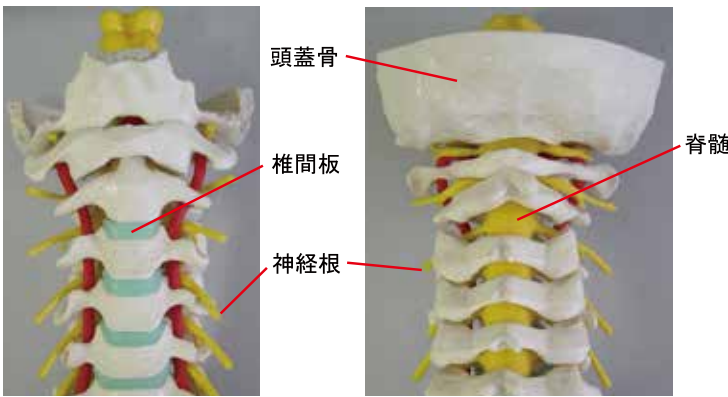


これまでは腰の病気を中心に取り上げてきましたが、今月からは数回にわたって首（頸椎）の病気について触れたいと思います。頸椎とは頭蓋骨の下、胸椎の上にある7個の椎骨です。腰椎と同じように前方に椎体、後方には椎弓と呼ばれる部分からなり、椎体と上下の椎体の間には椎間板があり、椎弓の外側には関節があり、周りを強い人体や筋肉に囲まれて頭を支えていると同時に脊髄という大事な神経の通り道の役割も果たしています。首の骨は頸椎、頸椎の中を通っている脊髄を頸髄といいます。

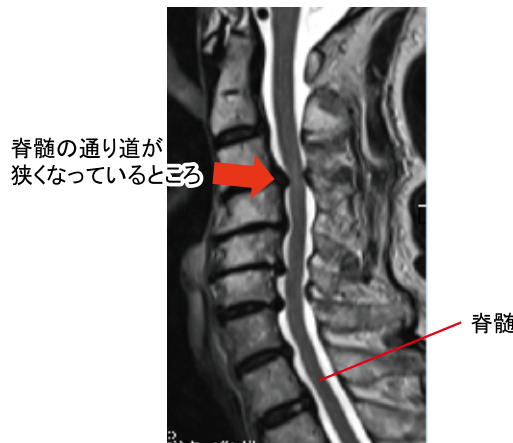
頸髄からは神経根という枝が出て、これが骨の間から外に出て手の方向に向かいます。頸椎の病気では頸部痛や肩こりのほか、神経

根や脊髄が圧迫を受けて神経症状が現れることもしばしばあります。そしてひどくなればやはり麻痺や耐え難い痛みを生じて手術が必要となる場合があります。脊髄や神経根が悪くなる病気にはいろ

頸椎を前から見たところ 頸椎を後ろから見たところ



んなものがありますが、整形外科領域で扱う病気はおもに脊椎の要素（骨や椎間板、靭帯など）が脊髄や神経根を圧迫しておこるものです。これには頸椎椎間板ヘルニアや、頸椎症、後縦靭帯骨化症、骨の不安定性によるものがあります。神経が圧迫を受けると、手や足、時には肩甲骨のあたりのしびれ、痛み、手の脱力感や異常な感



覚が出ます。これは腰椎の疾患で  
 の下肢に起こる症状と同じです  
 ね。そのほか手がうまく動かせな  
 くて不器用になるといった症状が  
 出ます。脊髄はそのまま下に進ん  
 で馬尾と呼ばれる末梢神経にな  
 り、腰椎を通るので、高度に頸椎  
 がやられると足にもしびれや歩き  
 にくさ、ふらふらするといった症  
 状が出ることもあります。おしっ  
 こがうまく出せない、トイレに行  
 きたいのを我慢できず、漏らして  
 しまうという症状が出ることもあ  
 ります。

このように、頸椎の症状は上肢  
 や下肢、排尿など最初は首が原因  
 とは思えないようなところに症状  
 が出ることもあります。このよう  
 な症状でお困りの方は一度整形外  
 科でご相談ください。